

## 2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月30日

上場会社名 ピープル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp/>  
代表者（役職名） 取締役兼代表執行役（氏名） 桐淵真人  
問合せ先責任者（役職名） 執行役（氏名） 飛田留美子（TEL）03-3862-2768  
半期報告書提出予定日 2024年9月2日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月21日～2024年7月20日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	718	△70.0	△147	—	△144	—	△150	—
2024年1月期中間期	2,394	△41.9	90	△77.8	97	△75.6	67	△75.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	△34.39	—
2024年1月期中間期	15.28	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期中間期	2,179	2,041	93.7	466.65
2024年1月期	2,768	2,395	86.5	547.52

（参考）自己資本 2025年1月期中間期 2,041百万円 2024年1月期 2,395百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）2025年1月期の配当につきましては、通期業績見通しと連動して勘案する方針でおりますため、年末商戦状況を見極めた上で期末配当予想を発表させていただきます。

## 3. 2025年1月期の業績予想（2024年1月21日～2025年1月20日）

2025年1月期第3四半期累計期間業績予想（2024年1月21日～2024年10月20日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	1,249	△71.6	△179	—	△176	—	△183	—	△41.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）当社の通期業績は、年末商戦期間（10～12月）の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきですが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年1月期中間期	4,437,500株	2024年1月期	4,437,500株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年1月期中間期	63,352株	2024年1月期	63,352株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年1月期中間期	4,374,148株	2024年1月期中間期	4,374,148株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間貸借対照表 .....	5
(2) 中間損益計算書 .....	6
中間会計期間 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
カテゴリ別販売の状況 .....	9
① 中間会計期間売上高 .....	9
② 新発売商品及び主なりリニューアル商品 .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間は、消費傾向がレジャーや外食に偏り、当社の属する玩具市場では下降が続いております。

当社は、現在の市場の状況を、価値観と行動パターンが変化してしまった購入者にとって、現在市場にある商品はニーズとずれてしまった結果と捉えており、子どもの好奇心という本質的なニーズを満たす商品をつくり、現在の状況にマッチした伝え方を見つけ出すことで、市場を成長に転じさせることができると考えております。

そのため、パーパス「子どもの好奇心がはじける瞬間をつくりたい」を軸に、新しい「好奇心事業」第一弾を2025年にローンチし、その後、年に2品程度の新商品を順次発売していく計画を進めております(既存シリーズの新商品はそれとは別に発売していきます)。

また、これらの商品たちが受け入れられる土壌を、広報活動を通じてつくることに注力しております。

業績面においては、前期、粗利改善と社内リソースの確保を目的とした大規模な事業改革(海外に向けた販売戦略変更および国内販売の一部既存事業の撤退)を実施したことで、当期より、売上の質が大きく変化し、売上高は大幅な減少となる一方、売上総利益率はめざましい改善に向かっております。

また、新事業のローンチを目標としている来期まで、既存品と既存シリーズでの新商品で売上を支えながらも、研究開発費を中心とした先行投資が嵩む傾向にあります。

当中間会計期間は、既存シリーズの「ピタゴラス」が好調を維持し、前期撤退した2事業(自転車、お人形)の売上減少を一定幅に抑えました。

海外販売では、米国向け「MAGNA-TILES」の販売先との契約変更に伴い、当期より当社がIPを持つセット品に対するロイヤリティ収入へ変わったことから、前期までとの比較で大幅な売上減となりました。

この結果、総売上高は、前年同期間比70.0%減の7億18百万円となりました。

売上高は大幅減となった一方で、粗利改善は大きな成果が表れ、原価率は前年同期間より18ポイントの改善となったことから、売上総利益段階では前年同期間比50.6%減の3億31百万円となりました。

経費では、新事業の来期以降順次ローンチに向け、ほぼ計画通りに先行投資を行い、その費用が発生しております。一方で、固定費等は最低限の発生に抑えたことから、経費全体で前年同期間比17.5%減となりつつも、経費全体では売上総利益以上の発生となりました。

この結果、当中間会計期間、営業損失は1億47百万円(前年同期間は90百万円の営業利益)、経常損失は1億44百万円(前年同期間は97百万円の経常利益)、中間純損失は1億50百万円(前年同期間は67百万円の中間純利益)となりました。

#### (中期的な方針)

2025年の好奇心事業ローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成にとって重要と考え、広報活動を積極的に行ってまいります。

PR TIMES STORY <https://prtimes.jp/story/detail/qb6ovdu0ykb>

X(旧Twitter) [https://twitter.com/PRTIMES\\_TV/status/1648884197648478209](https://twitter.com/PRTIMES_TV/status/1648884197648478209)

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行って参ります。

- ① ロングセラー商品の順次値上げ
- ② 現在ニーズのある商品を集中的にプロモーションし、お届けしていく活動
- ③ 既存カテゴリーから、まだ接触できていないユーザーに刺さるような新商品の開発
- ④ 投資家の皆さまはじめ社会に向けた情報発信のためのIR活動

これらの活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えして参ります。

(<https://note.com/people.pr>)

(カテゴリー別の概況)

当中間会計期間の各カテゴリー別売上高およびリニューアル発売品につきましては、9ページをご参照ください。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末から5億89百万円減少の21億79百万円となりました。資産の部では、流動資産が主に売掛金の減少等により、前事業年度末から5億89百万円減少の18億99百万円となり、固定資産では、主に有形固定資産の増加等により、前事業年度末から0百万円増加の2億80百万となりました。

(負債)

負債では、流動負債で主に買掛金、未払法人税等の減少により、負債合計で前事業年度末から2億35百万円減少し、1億37百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、配当等支払、中間純損失計上により、前事業年度末より3億54百万円減少し、20億41百万円となり、結果、自己資本比率は93.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より4億37百万円減少し13億86百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間純損失の計上の他、主に売上債権の減少、棚卸資産の増加、法人税等の支払等の結果、2億16百万円の支出となりました(前中間会計期間は5億30百万円の収入)。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に金型等固定資産の取得により14百万円の支出となりました(前中間会計期間は7百万円の支出)。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により2億8百万円の支出となりました(前中間会計期間は2億54百万円の支出)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(第3四半期累計期間 業績予測)

現在当社は、2025年春から順次新規事業をローンチさせていく計画の途上であり、当期はその過程において、総力を新事業開発に充てながらブランド力の強化と認知、既存品群の選定による収益力改善を進行しており、その進行は現時点において計画通りであることをまずお知らせいたします。

過渡期となる当期は、一時的ながら大幅な業績低下を見込んでおりますが、低迷する市場からの脱却のため、当社が向かおうとする、普遍的な子どもの好奇心をはじけさせるきっかけとなるモノ作りにおいて当社にしかない力を信じ、将来の業績回復を目指してまいります。

予想値としましては、第3四半期累計期間(2024年1月21日～2024年10月20日)は、売上高12億49百万円(前年同期比71.6%減)、営業損失1億79百万円、経常損失1億76百万円、四半期純損失1億83百万円と予想しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月20日)	当中間会計期間 (2024年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,823,498	1,386,105
売掛金	371,379	176,177
商品	277,461	311,357
原材料	769	1
その他	16,134	26,179
貸倒引当金	△1,375	△1,106
流動資産合計	2,487,866	1,898,713
固定資産		
有形固定資産	23,380	27,776
無形固定資産	17,587	13,026
投資その他の資産	238,747	239,078
固定資産合計	279,714	279,880
資産合計	2,767,580	2,178,593
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,874	22,388
未払法人税等	120,008	1,604
その他	215,765	113,410
流動負債合計	372,647	137,402
負債合計	372,647	137,402
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,937,795	1,577,413
自己株式	△34,362	△34,362
株主資本合計	2,304,939	1,944,556
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89,994	96,634
評価・換算差額等合計	89,994	96,634
純資産合計	2,394,933	2,041,191
負債純資産合計	2,767,580	2,178,593

(2) 中間損益計算書

中間会計期間

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月21日 至 2023年7月20日)	当中間会計期間 (自 2024年1月21日 至 2024年7月20日)
売上高	2,394,309	717,639
売上原価	1,724,347	386,688
売上総利益	669,962	330,951
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	66,251	14,170
販売促進費	37,201	22,435
運賃	65,342	38,348
役員報酬	34,903	28,403
給料及び手当	70,951	63,157
退職給付費用	8,611	8,353
支払手数料	69,527	59,268
研究開発費	117,115	149,496
その他	109,823	94,616
販売費及び一般管理費合計	579,724	478,247
営業利益又は営業損失(△)	90,238	△147,296
営業外収益		
受取利息	56	162
受取配当金	2,792	2,340
為替差益	-	817
受取保険金	8,961	-
その他	172	224
営業外収益合計	11,981	3,543
営業外費用		
為替差損	5,219	-
営業外費用合計	5,219	-
経常利益又は経常損失(△)	96,999	△143,753
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	96,999	△143,753
法人税、住民税及び事業税	19,516	648
法人税等調整額	10,641	6,022
法人税等合計	30,157	6,670
中間純利益又は中間純損失(△)	66,842	△150,423



(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月21日 至 2023年7月20日)	当中間会計期間 (自 2024年1月21日 至 2024年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	96,999	△143,753
減価償却費	30,601	14,511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△309	△269
受取利息及び受取配当金	△2,848	△2,502
受取保険金	△8,961	-
為替差損益(△は益)	9,364	△15
売上債権の増減額(△は増加)	209,470	195,202
棚卸資産の増減額(△は増加)	168,169	△33,129
前渡金の増減額(△は増加)	226,560	427
仕入債務の増減額(△は減少)	114,813	△14,487
前受金の増減額(△は減少)	△207,173	△12,905
その他	△19,963	△109,162
小計	616,723	△106,080
利息及び配当金の受取額	2,848	2,502
保険金の受取額	8,961	-
法人税等の支払額	△98,709	△112,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	529,822	△215,698
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,971	△13,822
無形固定資産の取得による支出	△970	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,941	△13,822
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△254,339	△207,888
その他	△78	205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254,418	△207,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,364	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,099	△437,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,313,103	1,823,193
現金及び現金同等物の中間期末残高	* 1,572,202	* 1,386,005

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、玩具及び乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### 3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

#### ① 中間会計期間売上高

(単位：千円)

カテゴリー名	2024年1月期 中間会計期間 (自 2023年1月21日 至 2023年7月20日)	2025年1月期 中間会計期間 (自 2024年1月21日 至 2024年7月20日)	前年同期比(%)
乳児・知育・構成玩具(注1)	554,244	531,550	95.9
メイキングトイ(注2)	73,815	13,286	18.0
その他(遊具・乗り物・育児等) (注3)	190,709	75,916	39.8
海外販売・ロイヤリティ収入	1,575,541	96,887	6.1
合計	2,394,309	717,639	30.0

(注1) 旧「乳児・知育玩具」。

(注2) 2024年1月期はお人形シリーズ(ぼぼちゃんシリーズ)を含んでおります。

(注3) 「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリー」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

#### ② 新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!きほんボックス」	¥14,300
	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!ラウンドハウス」	¥9,350
メイキングトイカテゴリー	「ドリーミーDIYトイ ねじハピ ステッキドライバーDIYセット」	¥3,850
	「ドリーミーDIYトイ ねじハピ グランドハウスDIYセット」	¥6,600